



カトリーヌ10世
Catherine X

PROFILE

グローバル化が進む
社交界事情にも通じる。
密かな趣味は人間観察と
コスプレ。好きな飲み物は
モンラッシュ。日本では
ほとんど知られていない、
ある小国の女王との
ウワサも!

不

適切にもほどがある」といふドラマがあります。約40年前の昭和時代と2024

年の日本を往来する男をめぐるクドカン脚本の社会風刺コメディです。昭和の各種ハラスメントと対比させながら、コンプライアンスに対する配慮が過剰になった現状を皮肉たっぷりに描きます。「俺たちフィギュアスケーター」の「俺たち」がNGになるのであれば、本連載タイトルの「男たちよ」も却下ということになりますね。というわけで今回はクドカンに敬意を表し、ジエンダーを問わず、人間か動物かも問わないレベルまでコンプラに配慮した(?)テーマです。「幹細胞よ、目覚めなさい」

真面目な話、ブルガリ ホテルに採用され日本に初上陸したスキンケア、「アウグステイヌス・バーダー」のコンセプトがまさにコレなのです。

このブランドは幹細胞と再生医療の分野での第一人者、アウグステイヌス・バーダー教授の知見に基づくスキンケアですが、教授は研究の結果、ひとつのシンプルな真理にいきつきしました。それは、「カラダがもつともよく知っている」。つまり、人間の幹細胞は自身を修復させる力をもっている。ただし、眠れる幹細胞を覚醒させるた

04 Lifestyle

男たちよ
目覚めなさい

イラスト/ユリコフ・カワヒロ

幹細胞よ 目覚めなさい

め、ここに正しいシグナルを送る必要がある、と。「幹細胞よ、目覚めなさい」というシグナルこそ、教授が特許を獲得したトリガー・ファクター・コンプレックス8 (TF C8) です。

TF C8 はベニシリン級の発見で、教授は治療薬としてあらゆる製薬会社に持ち込みますが、「お金にならない」と断られるのです。結果、美容の分野でのブランド創設となりました。利益は教授が研究を継続するための支援資金に回ります。研究を支援しつつ最先端科学の成果を享受できるとあれば、ブラッド・ピットが投資するのも納得です。利益第一の資本主義が行きすぎた世界にもクドカンに突っ込みを入れてほしいところですが、おかげで幹細胞覚醒コスメに出合えたと思つとやや複雑。コンプラも資本主義も、その二面性とどう付き合うかにセンスが問われていきますね。